

(2026年7月1日発表)

## 7月1日～ 公共施設を活用した中高生などの学習環境を充実する取組の継続

静岡市は、4月27日(月)から6月30日(火)まで、中学生や高校生などの学習環境の充実に向けた公共施設の運用に関するモデル事業を「茶木魚(ちゃきつと)」および「アイセル21」で実施しました。一定の利用ニーズが確認されたことから、本取組を継続します。また、既にフリースペースにおいて学習利用が可能な公共施設を改めて取りまとめ、その情報を市ホームページに掲載するなど、中高生などの学習機会の充実を図ります。

### 【趣旨・背景】

- ・静岡市では、2026年4月から6月まで、公共施設を活用した学習環境の充実に向けた利用ニーズや運用上の課題を把握することを目的に、モデル事業を実施しました。
- ・実施期間中は、約3,000人(1日あたり50人程度)の利用があり、特に16時から19時の時間帯に利用が集中するなど、一定の利用ニーズが確認されました。
- ・利用者アンケートでは、約150件の回答があり、「とても良い」92%、「良い」7%を合わせて99%の高い評価が得られました。
- ・また、Wi-Fiの利用も約500件、活発に利用されました。利用者からは、「今後も継続してほしい」「もっと色々な場所で学習したい」といった意見が多く寄せられました。
- ・これらの結果から、本取組は一定の効果があったと判断し、当面の間、継続して実施します。
- ・あわせて、モデル事業を実施した2施設に加え、市内の図書館や生涯学習交流館など、学習利用が可能なスペースがある施設を取りまとめ、「学習利用が可能であること」の周知を図ります。

### 【実施概要】

- ・モデル事業を実施した「茶木魚」および「アイセル21」の2施設に加え、2026年7月1日(水曜日)から、既にフリースペースとして開放している公共施設のうち、学習利用も可能な施設の情報を周知します。
- ・7月1日から、学習利用も可能であることを周知する施設は次のとおりです。

生涯学習施設(20館): 辻、江尻、浜田、岡、船越、清水、不二見、駒越、折戸、三保、飯田、高部、有度、袖師、庵原、興津、小島、両河内、由比、蒲原

地域福祉共生センター、地域福祉交流プラザ

勤労者福祉センター(2館): 東部、北部

図書館(12館): 中央、御幸町、藁科、西奈、北部、南部、長田、清水中央、清水興津、蒲原、中央図書館麻機分館、中央図書館美和分館

※図書館は、読書利用が優先です。持ち込み学習は可能ですが、各館の利用ルールに従ってご利用ください。

- ・学習利用が可能な公共施設および各施設の設備や利用ルールについては、市ホームページをご確認ください。(URL:<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013128.html>)
- ・今後も、利用状況や運用上の課題を検証し、より効果的な運用方法について検討していきます。

### 【取材について】

取材いただける場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

総合政策局 総合政策課(静岡庁舎新館12階) 担当者:香西、宮内、清水 電話:054-221-1020